

TGR TEAM ZENT CERUMO

2020 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJIMAKI GROUP MOTEGI GT 300km RACE

第7戦 ツインリンクもてぎ

ZENT GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆11月7日（土） QUALIFY

公式予選結果 6位



10月24～25日に行われた第6戦鈴鹿では、表彰台争いを展開しながらも惜しくも届かず5位。ポイントランキングではトップから11ポイント差の8位につけているTGR TEAM ZENT CERUMOの立川祐路と石浦宏明にとって、迎える第7戦ツインリンクもてぎは、チャンピオン争いに残って最終戦を迎えるためにも絶対に落とせないレースだ。そんな第7戦もてぎに向け、チームはZENT GR Supraの準備をしっかりと整え、レースウィークに臨んだ。

今回の戦いの舞台であるツインリンクもてぎは、今季2回目の開催。9月の第4戦ではZENT GR Supraは2位に食い込んでおり、今回もその再現に期待がかかる。このときは立川がポールポジションを決めていたが、11月7日（土）の公式予選でも、狙うのはそのポジションだ。

迎えた予選日は晴れ。前日までは冷え込みが強かったものの、この日は暖かさの残るなか、午前9時05分から公式練習がスタートした。ZENT GR Supraはいつもどおり立川がステアリングを握りコースインし、午後の予選、そして11月8日（日）の決勝に向けセットアップの確認やタイヤの比較を行っていった。

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

ADVICS

TGR TEAM ZENT CERUMO

ただ、この日の ZENT GR Supra は走り出しからいまひとつフィーリングが良くない。立川と TGR TEAM ZENT CERUMO はセットアップを調整していきながら、16 周をこなしピットイン。石浦に交代する。石浦も継続してセットアップを行っていくが、少しずつ ZENT GR Supra のフィーリングは好転していくことに。終盤の専有走行の時間帯の最後には石浦が 1 分 37 秒 526 までタイムを上げ、これで公式練習をトップタイムで終えることに成功した。



好調のなか公式練習を終えた ZENT GR Supra だが、とはいえこの石浦のタイムは、決勝に向けては使用しないもの。午後の公式予選に向けて再度 TGR TEAM ZENT CERUMO はセットアップの確認を行い、午後 2 時 03 分にスタートした GT500 クラスの公式予選 Q1 へ向けて、石浦を送り出すことになった。

石浦は ZENT GR Supra のフィーリングを確認しながらタイヤをウォームアップさせ、4 周目にはタイムアタックに入っていく。ミスなくアタックを決めた石浦のタイムは、1 分 37 秒 226。ライバルメーカーや異なるタイヤメーカーのマシンがこの予選では大きくタイムを伸ばすことになったが、それでも ZENT GR Supra の順位は 6 番手。見事 Q2 の立川に繋ぐことに成功した。



GT500 クラスの Q2 に向けたインターバルの間、ライバルたちのスピードに追いつくべく、石浦は Q2 の立川に向け、1 周早いタイミングでのアタックを提案する。チームもこのリクエストに応え、ZENT GR Supra に味付けを行い Q2 へ臨んだ。ウォームアップを早く終わらせた立川は、午後 2 時 41 分からの Q2 で、3 周目にアタックを敢行する。

ここで立川は 1 分 37 秒 204 というタイムをマークすると、さらに翌周もアタックを続け、1 分 37 秒 173 までタイムを縮めてみせた。石浦のタイムからほん

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
RACING

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MOTUL

TGR TEAM ZENT CERUMO

のわずかながら向上がみられることになったが、それでもライバルたちの速さはこの Q2 でも変わらず、ZENT GR Supra の順位は Q1 と同様に 6 番手という結果となった。

もちろんポールポジションからスタートを切ることができればそれに越したことはないが、それでもチーム全体がミスなく、やり切った結果での 6 番手。またレースでは上位陣のパッケージは異なり、どうなるかは予想もつかない。TGR TEAM ZENT CERUMO は決勝に向けて、今回の最大の目標である大量得点を獲得するべく、しっかりと準備を整えていく。

ドライバー／立川祐路

「公式予選ではもう少し前のポジションにつけたいところではありましたが、今日の午前からの流れ、予選 Q1 の状況をみると、今日に関してはこれが精一杯だったかな、と感じています。タイヤやパッケージが異なるマシンが前にいますが、まわりの状況も分かりませんし、自分たちができることはやりきれたと思っています。レースになれば状況は変わってきますし、もちろん自分たちから変えたいと思っています。前戦で表彰台を逃しているので、今回は表彰台、そして優勝を目指して頑張りたいですね」

ドライバー／石浦宏明

「午前の公式練習前半ではいまひとつクルマが決まっておらず、セッティング変更などを行いましたが、そこからフィーリングは良くなっていました。公式練習ではトップタイムで終わられ、なんとか流れをつかみかけているな、と感じることができました。午後の公式予選ではライバルのタイヤメーカーが大きくタイムを伸ばすことになりました。自分としては良いアタックができたのですが、6 番手だったので、立川選手にアタックのタイミングをずらす提案をしました。結果的にはタイムはそこまで変わらなかったのですが、決勝を重視したタイヤを選んでいきますし、6 番手からチャンスはあると思いますので、しっかりと優勝を目指して頑張りたいと思っています」

村田淳一監督

「結果としては少し残念でしたね。もう少し前のポジションを期待していたの



TGR TEAM ZENT CERUMO

ですが、予想以上に異なるパッケージのマシンが速さをみせる結果となりました。とはいえ予選 Q2 に進出することもできましたし、決勝に向けて最低限の準備をすることができたのではないかと考えています。前回のもてぎで良かった面、悪かった面をしっかりと踏まえ、改善すべきところもたくさんありましたので、しっかりとレースを戦いたいと思っています。今回最低でも表彰台に立ちたいですし、ランキング上位につけて最終戦富士に望みを繋ぎたいと思っています。大量得点を目指しチーム一丸となって優勝を狙いたいですね」

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

YAMAHA
JMS

T-SELECT

トヨタ東自大

BBS

SHIMADA
BRAKE FLUID

ADVANCE
WEAR

TGR TEAM ZENT CERUMO

予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q2 Time	Q1 Time
1	64	Modulo NSX-GT	1'36.140	1'36.368
2	8	ARTA NSX-GT	1'36.593	1'36.861
3	100	RAYBRIG NSX-GT	1'36.779	1'36.825
4	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'36.885	1'37.233
5	19	WedsSport ADVAN GR Supra	1'37.151	1'36.714
6	38	ZENT GR Supra	1'37.173	1'37.226
7	36	au TOM'S GR Supra	1'37.500	1'37.271
8	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	1'46.060	1'37.078
9	14	WAKO'S 4CR GR Supra		1'37.304
10	17	KEIHIN NSX-GT		1'37.328
11	16	MOTUL MUGEN NSX GT		1'37.463
12	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra		1'36.368
13	37	KeePer TOM'S GR Supra		1'37.572
14	12	CALSONIC IMPUL GT-R		1'37.615
15	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R		1'37.860

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

YMS

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

ADVICS